

～小林一茶の作品から

**雀の子そこのけそこのけ御馬が通る**

**やれ打つな蠅が手をする足をする**

中学の入試問題で出会って素直さに感動した句ですが  
童心こそが滑稽の原点ではないかと今になって思うのです。  
私の心に俳句の種を蒔いてくれた恩人のような句なのです。

～松本たかしの作品から

**雪だるま星のおしやべりぺちやくちやと**

この句は教科書で出会いました。  
おしやべり ぺちやくちや・・・この句が登場したとき俳人たちはどんな感想をもった  
のだろうか。  
おそらく「へんな」句だと思ったのではないか・・・  
この独創表現こそが滑稽なのです

～西東三鬼の作品から

**水枕がばりと寒い海がある**

寒い海があると言い切った思い切りの良さに感動です。  
三鬼は滑稽と意識せず作ったのでしょうか。  
高熱に感じた言い知れぬ不安を寒い海に託したところが滑稽表現と言えるでしょう。